

昨年のちょうど今頃、安倍内閣が生まれ、アベノミクスは金融緩和と公共投資を軸として、円安デフレ抑制等に見事な政治手腕を発揮して国民に安堵感を与え、将来に向かって景気は良くなるという希望が生まれ、経済に携わる者達にとってなによりの力であり、励みになるものでありました。

隣の木更津市では人口が増加し、にぎわっているから君津市も人口を増す方法を考えろ！とお叱りを受けております。

私も人口増は経済にとって最も必要なエネルギーだと思っております。流山、柏、印西、白井、木更津等は人口増によってすばらしい発展だとマスコミは書いております。

光の当たる表の部分だけで影の部分が書かれておりません。デベロッパーによる他力本願の人口増は必ず大量販店、チェーン店を伴って参りますので、既存の商圈までむしり取る事はあっても、恩恵が回遊してくることは見当たらないのであります。

昔から自分のお店のお客様は、店の魅力でお客を集めるしかないのです。お客様が魅力を感じてくれる前に、店の息子や娘さんたち家族が自分の店に魅力や愛情を持って、自分達が後を継ぎたいという働く姿が無くては他人のお客様にとっても魅力無い店となります。世代交代は企業にとっては最重要課題であります。その世代交代の準備が終わっていない企業、商店がまだ60%もあります。

近年倒産廃業した企業の80%は後継者がいなかったからであります。毎年7万社が消失して35万人の従業員が職を失って居ります。

このままですと後10年後には中小零細企業は壊滅してしまうと多くの経営者達は嘆いております。私の会社は息子2人が大学へ進学する前に「会社の決算書、個人の収入、資産状況」を良く説明して、会社の事業を承継してくれるものに会社の全資産とその運営に必要な担保となる資産をすべて相続させると話し合い、遺言書を作成し、事業承継を決めました。大学入学以後は業界の諸行事には常に同行して業界を知り、人脈を作らせて参りました。そして私が64歳、息子41歳の時、事業継承は終わりました。私のブレーン、人脈も快く全部引き継いでくれました。ご存知の様に会社の経営は必ず好不況があり、思わぬ事故災害もあります。周囲に良きブレーンがいるか、いないかで浮き沈みが決まります。市内で優れた企業には皆良きコンサルタントがついております。社外に本音で話せる相談役は是非持って下さい。これから大企業に伍して生き残るためには家族、同族が結集する事であります。親が子の将来を思い、子は親の後ろ姿を見て互いに助け合う親子の愛情と絆は、大企業に優るものであります。

先日のダイヤモンド紙に同族企業は出来るだけ何世代同居の方が家業の大切さがより実感できると書いてありました。これからは消費税、医療介護費の負担増、年金は圧縮されるようです。

既に韓国で見られる様に中高年の方は自営業(43万軒も急増)で生活を補う現実の姿が見られます。事業承継を立派にされて後顧の憂いを無くしておいて下さい。